

2021年1月20日

## 第17回国際スラヴィスト会議（2023年8月28日～9月1日 パリ）

### 発表希望者募集のお知らせ

このたび、国際スラヴィスト協会幹部会で定められた規定に基づき、2023年8月にパリで開催される第17回国際スラヴィスト会議に参加する研究発表を、以下の要領で募集します。

日本スラヴィスト協会会長 村田真一

1. 発表希望者は、以下の事項(1)～(4)をA4用紙に記入し、.doc または.pdf フォーマットで、slavist.japan2018@gmail.com まで、2021年3月31日まで（締め切り厳守）にお送りください。発表題目・概要は、日本語および欧文の両方で提出してください。発表は未公開のものに限ります。論文・学会口頭発表などですでに公開・刊行したものは、発表言語にかかわらず、ご遠慮下さい。

- (1) 氏名・所属・研究テーマ・主要業績 3 点。
- (2) 希望する分科会・セクション（別紙分科会一覧を参照のこと）。
- (3) 発表題目とレジюме（日本語と欧文の両方）。レジюмеは日本語で 400 字程度、欧文で 1000 字程度（日本語と同じ内容のもの）とする。欧文レジюмеの言語については下記の注意事項を参照。
- (4) ディスカッション等で運用可能な言語（二つ以上）。

#### 注意事項

- ・本会議に使用可能な言語は、すべてのスラヴ語ならびに英・仏・独です。
- ・発表言語とレジюме言語は、原則別とします。たとえばレジюмеがロシア語の場合、発表言語はロシア語以外のスラヴ語または英仏独となります。提出されたレジюмеの差し替えは原則お断りしますので、ご留意ください。

2. 発表候補者は、国際スラヴィスト協会の定める国別参加枠に基づいて、日本スラヴィスト協会が選定します。なお、現在国際スラヴィスト協会から日本に割り当てられている枠は 8 名です。

3. 上記のとおり参加枠が限られていることから、国際スラヴィスト会議の趣旨ならびに歴史的経緯をふまえ、日本代表の選定基準を以下のように定めます。

- (a) 博士号取得あるいはそれと同等の研究業績があること。

(b) 大学あるいはこれと同等の機関でスラヴ語・スラヴ文学・スラヴ文化に関わる教育・研究に従事していること（常勤・非常勤は問いません）。

(c) 複数のスラヴ域に関わる研究テーマで、国際的な学術誌への論文掲載など一定の業績があること。

(d) 上記 3 点に加え、複数のスラヴ語で討論やプレゼンテーションができることが望ましい。

4. 発表者の最終決定は、国際スラヴィスト協会幹部会の承認を経て日本スラヴィスト協会に通知されます。通知後は日本スラヴィスト協会事務局から当事者に連絡します。参加枠に限りがあることからご希望に添えない場合があることをご了承ください。ただし、国際スラヴィスト協会による全体調整ののち、追加枠が配分される可能性があります。その場合は、参加希望者を追加で公募することもあります。

申込・問い合わせ先： [slavist.japan2018@gmail.com](mailto:slavist.japan2018@gmail.com)

日本スラヴィスト協会事務局（三谷恵子）

以上